【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公開番号】特開2002-306689(P2002-306689A)
【公開日】平成14年10月22日(2002.10.22)
【出願番号】特願2001-112385(P2001-112385)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６３Ｆ　7/02
【ＦＩ】
　Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ
　Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｚ
　Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
　Ａ６３Ｆ　7/02　３３４

【手続補正書】
【提出日】平成15年12月11日(2003.12.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ＲＯＭに記録された遊技プログラムを実行し、遊技の統括的な制御を行うと共に、排出装置を駆動する排出制御装置に賞球制御指令信号を出力する遊技制御装置を備えた遊技機において、
　当該遊技機の前面から視認できる位置に表示部を設け、
　前記遊技制御装置は、
　表示部の表示内容を制御する表示コントロールユニットに接続すると共に、該表示コントロールユニットに対して該表示部の表示内容を送信して制御するように構成し、
　当該遊技制御装置のＲＯＭで決定される仕様の情報を表示することを特徴とする遊技機。
【請求項２】
遊技機への電源供給停止時にも、前記表示コントロールユニットに電源を供給するバックアップ電源回路を備え、
　前記表示コントロールユニットは、
　制御部、ドライバ部、及び外部から書込可能なレジスタを記憶する記憶部を備え、
　前記遊技制御装置から残賞球数及び機種仕様情報の信号を受信し、対応するレジスタに記憶し、該レジスタに記憶されたデータを表示することを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
【発明が属する技術分野】
本発明は、遊技機の機種の仕様に関する情報を表示する遊技機に関する。
【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
【発明が解決しようとする課題】
上述した遊技機では、遊技制御装置のプログラム（ＲＯＭ）の記憶内容を変更することによって、大当り確率値、確変突入率、入賞口毎の賞球数などの仕様を変更することができるため、外観（外枠、遊技盤、賞球排出機構、制御装置のハードウェアなど）を共通化した同一シリーズの機種であって、互いに性能（大当りの発生頻度など）を異ならせた数パターンの遊技機を用意することができ、低コストで機種の品揃えを豊富にすることができる。そして、外観が類似しているこれら同一シリーズの遊技機であっても、遊技者がそれぞれを個別に識別できる必要がある。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明は、プログラムの変更に基づく遊技機の外観では識別不可能な仕様の相違を遊技者に知らせることができる遊技機を提供することを目的とする。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【課題を解決するための手段】
第１の発明は、ＲＯＭに記録された遊技プログラムを実行し、遊技の統括的な制御を行うと共に、排出装置を駆動する排出制御装置に賞球制御指令信号を出力する遊技制御装置を備えた遊技機において、当該遊技機の前面から視認できる位置に表示部を設け、前記遊技制御装置は、表示部の表示内容を制御する表示コントロールユニットに接続すると共に、

該表示コントロールユニットに対して該表示部の表示内容を送信して制御するように構成し、当該遊技制御装置のＲＯＭで決定される仕様の情報を表示することを特徴とする。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
第２の発明は、第１の発明において、遊技機への電源供給停止時にも、前記表示コントロールユニットに電源を供給するバックアップ電源回路を備え、前記表示コントロールユニットは、制御部、ドライバ部、及び外部から書込可能なレジスタを記憶する記憶部を備え、前記遊技制御装置から残賞球数及び機種仕様情報の信号を受信し、対応するレジスタに記憶し、該レジスタに記憶されたデータを表示することを特徴とする。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
【発明の作用および効果】

第１の発明では、遊技機の前面から視認できる位置に表示部を設け、前記遊技制御装置は、表示部の表示内容を制御する表示コントロールユニットに接続すると共に、該表示コントロールユニットに対して該表示部の表示内容を送信して制御するように構成し、当該遊技制御装置のＲＯＭで決定される仕様の情報を表示するので、遊技制御プログラムの変更に基づく遊技機の外観では識別不可能な仕様の相違を遊技者に知らせることができ、仕様毎に異なる内容の表示を付す必要がなくなる。

【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
第２の発明では、前記遊技制御装置から残賞球数及び機種仕様情報の信号を受信し、対応するレジスタに記憶し、該レジスタに記憶されたデータを表示するので、停電中でも残賞球数が保持されていることを遊技者が認識でき、遊技者が安心して停電復旧を待つことができる。

【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】